

参加費:無料(公開)

【畜産・公開シンポジウム】

肉用牛生産における国際化の 対応と地域の活動

主催: 日本学術会議 食料科学委員会 畜産学分科会

日本畜産学アカデミー、肉用牛研究会、佐賀県

日時: 平成28年9月15日(水) 13:00~17:00

場所: 佐賀市 アバンセ (佐賀県立男女共同参画センター・
佐賀県立生涯学習センター) ホール



〒840-0815 佐賀県佐賀市天神3丁目2-11 Tel. 0952-26-0011

我が国の肉用牛生産は、TPPを巡る状況のもとで、飼料や子牛価格の高騰、輸入肉の増加や、国策としての和牛肉輸出の促進という、めまぐるしい状態下にある。さらに海外では、オーストラリアや欧米、アジアで和牛の血統を入れた外国産Wagyuの生産が始まり、最近、急拡大し始め、今後の国際競争は予断を許さないものがある。これら国内外の牛肉生産状況は、我が国の肉牛生産者のみならず、流通業界、食品業界、地域産業や観光産業さらには消費者にも広く大きな影響を及ぼすものでもある。

そこで本シンポジウムでは、我が国の肉牛生産を国内だけでなく国際的視野をもって考えるため、TPP対策としての我が国の肉用牛生産の課題や、Wagyuを含む和牛を巡る国内外の情勢と課題を示し、さらには地域の実践活動例として、佐賀牛の振興(輸出)ならびに畜産農家に対する飼養管理技術の向上支援活動について紹介し、今後の技術開発や方向性を考え、畜産学や畜産業の新たな展開に資することを目的とする。

13:00~13:20 **開会挨拶** 矢野 秀雄(日本学術会議 連携会員、京都大学名誉教授)、ご来賓

基調講演

座長 眞鍋 昇(日本学術会議 連携会員、大阪国際大学教授、東京大学名誉教授)

13:20~14:50 「TPPと日本の肉用牛生産の課題」 福田 晋(九州大学大学院 農学研究院 教授)

一般講演

15:00~15:30 「和牛をめぐる国内外の情勢と課題」 入江 正和(近畿大学 生物理工学部 教授)

事例紹介

15:40~16:00 「佐賀牛の振興について」 佐賀県農業協同組合

16:00~16:20 「畜産農家に対する飼養管理技術向上支援活動について」 早田 文博

(佐賀県農業技術防除センター 専門技術員)

16:20~16:40 **総合討論**

16:40~ **閉会挨拶** 渡邊 誠喜(日本畜産学アカデミー会長・東京農業大学名誉教授)

問い合わせ先: 佐賀県畜産試験場 大家畜部 横尾 直樹 TEL (0954)-45-2030・FAX 20-7000
E-mail: chikusanshiken@pref.saga.lg.jp